

## 進捗状況報告書に関する意見提出シート

### ◎中期目標・計画の大項目ごとの進捗状況

#### I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

##### 第1 教育に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

#### 主な実施の特徴点

1. 各学部・学科及び各研究科における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）をさらに明確化するとともに教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を策定し、公表した。  
【中期計画(1)(19)(21)・26年度計画(1)】
2. 平成24年度の芸術工学部におけるデザイン業界の変革に柔軟に対応できる人材を育成するための2学科から3学科への学科再編、平成25年度の人文社会学部におけるE S D（持続可能な開発のための教育）」を理念とした学部教育の再編成、薬学研究科における名古屋工業大学との共同大学院ナノメディシン科学専攻の設置など、教育実施体制について一定の充実・強化を図った。  
【中期計画(16)(17)(27)・26年度計画(17)(18)(19)(20)(24)】
3. 平成24年度に教養教育の科目区分や開講科目について、総合大学の利点を活かした多様な大学特色科目を取り入れ、体系的に再編した教養教育カリキュラムを導入した。  
【中期計画(3)・26年度計画(3)】
4. 学生の語学力向上を図るため、入学時と1年次終了時に英語力調査（TOEIC IP 試験）を実施し、その結果を習熟度別クラス編成に活用した。  
【中期計画(6)・26年度計画(6)】
5. 実務教育の強化、充実への取組みとして、経済学研究科において行政経験者や企業人による講義等を開講した。平成26年度には東海財務局と協定を締結し、翌年度からの国公立大学初の寄附講座開設が決まった。  
【中期計画(23)(28)・26年度計画(25)】

#### 【上記自己点検結果についての意見】

#### 【上記自己点検結果についての質問】

**未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容**

○研究科毎の入学定員充足率（入学者数を定員で除したもの）の3年平均

[中期計画 《数値目標》(1)]

目標	【参考】現状値	24	25	26	
【大学院修士課程 及び博士前期課程】  各年度 100%	平成 22 ～24 年 度入試	平成 23 ～25 年 度入試	平成 24 ～26 年 度入試	平成 25 ～27 年 度入試	
	医学研究科修士課程	86.7%	70.0%	70.0%	63.3%
	薬学研究科博士前期課程	99.1%	99.1%	101.9%	115.8%
	経済学研究科博士前期課程	95.8%	85.8%	76.7%	70.8%
	人間文化研究科博士前期課程	88.0%	92.0%	102.7%	94.7%
	芸術工学研究科博士前期課程	108.0%	89.8%	87.8%	82.2%
	看護学研究科博士前期課程	90.3%	95.8%	97.2%	106.9%
	システム自然科学研究科博士 前期課程	88.9%	80.0%	84.5%	91.1%
【大学院博士課程 及び博士後期課程】  各年度 70%を下回る研究 科の解消	平成 22 ～24 年 度入試	平成 23 ～25 年 度入試	平成 24 ～26 年 度入試	平成 25 ～27 年 度入試	
	医学研究科博士課程	80.8%	76.3%	81.4%	84.6%
	薬学研究科博士後期課程	94.7%	100.3%	81.9%	77.8%
	薬学研究科大学院博士課程			155.5%	155.5%
	経済学研究科博士後期課程	36.7%	33.3%	66.7%	60.0%
	人間文化研究科博士後期課程	73.3%	73.3%	93.3%	73.3%
	芸術工学研究科博士後期課程	66.7%	73.3%	66.7%	40.0%
	看護学研究科博士後期課程	60.0%	46.7%	46.7%	60.0%
システム自然科学研究科博士 後期課程	86.7%	93.3%	113.3%	106.7%	

平成 26 年度経済学研究科博士前期課程入試については、大学院の教育の質を確保するために、一般選抜及び外国人特別選抜の学科試験における合格最低基準の引き上げを実施した結果、応募者数に対する合格者の比率が低下したことがさらなる入学者減少の要因と考えられる。合格率の低下にともなって応募者が減少しているため、合格最低基準を維持しながら、応募者を増加させる方策を検討中である。

さらに他研究科においては、入試検討部会（現:入試検討小委員会）から入試に関する検証分析の依頼を受け、要因分析や今後の入学定員充足率向上に向けた対応策の検討を行っている。

○医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師国家試験の新卒者合格率

[中期計画 《数値目標》(4)]

目標	【参考】現状値		24	25	26
医師、薬剤師、看護師、 保健師、助産師国家試 験の新卒者合格率 各年度 100%	(平成 23 年度)				
	医師	96.47%	100%	97.47%	96.6%
	薬剤師	96.15%	89.29%	81.5%	81.0%
	看護師	98.7%	100%	100%	100%
	保健師	98.7%	100%	100%	100%
	助産師	88.9%	100%	100%	100%

薬剤師について、今後はより一層の国家試験対策の強化と指導の徹底を図っていくこととし、模擬試験の成績による低成績学生への指導強化および国家試験対策の演習科目の必修化を行う。

○幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得者数

[中期計画 《数値目標》(7)]

目標	【参考】現状値		24	25	26
各年度 計 30 人	(平成 23 年度)	計 16 人	計 12 件	計 27 人	計 18 人

質の高い保育者養成を目指す過程で、進路変更をする学生もいるため、現在のところ目標数値に到達していないが、平成 25 年度からの保育士資格・幼稚園教諭免許取得を前提とした推薦入試実施により、量的にも目標を達成していきたい。さらに初年次からのキャリア形成教育を進め、目的意識的に資格取得に取り組めるように支援を行う。

【上記自己点検結果についての意見】

【上記自己点検結果についての質問】

## 第2 研究に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

### 主な実施の特徴点

1. 国からの支援を受け、「最先端・次世代研究支援開発プロジェクト（文部科学省）」及び「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）（環境省）」をはじめとしたプロジェクト研究に取り組んだ。

【中期計画(46)・26年度計画(51)】

2. 薬学研究科の創薬基盤科学研究所を核に、文部科学省の「創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業」や「創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業」において、大学発の医薬品創出を目指し、創薬支援技術の高度化に取り組んだ。

【中期計画(48)・26年度計画(54)】

3. 臨床で働く看護職者との共同研究を推進する「看護実践研究センター」を平成24年度に設立し、看護職に対するリカレント教育と看護研究支援の範囲を広げて実施している。

【中期計画(52)・26年度計画(59)】

### 【上記自己点検結果についての意見】

### 【上記自己点検結果についての質問】

### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

なし

### 【上記自己点検結果についての意見】

### 【上記自己点検結果についての質問】

### 第3 社会貢献等に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

#### 主な実施の特徴点

1. 市民、地域社会、企業等と協働し、社会貢献を行うことを目的とした社会連携センターを平成26年4月に設置した。  
【中期計画(58)・26年度計画(67)】
2. 人的・知的資源の交流等を通じた教育の活性化及び連携による生涯学習等の推進を図ることを目的に、平成26年6月に名古屋市教育委員会と連携協力協定を締結した。  
【中期計画(61)・26年度計画(70)】
3. 本学の「地域と育む未来医療人「なごやかモデル」」事業等の名古屋市域を中心とする取り組みの展開と、市の地域包括ケアシステムの構築の推進を目的に、平成26年5月に名古屋市健康福祉局と連携協定を締結した。  
【中期計画(60)】

#### 【上記自己点検結果についての意見】

---

#### 【上記自己点検結果についての質問】

#### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

なし

#### 【上記自己点検結果についての意見】

---

#### 【上記自己点検結果についての質問】

#### 第4 大学の国際化に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

##### 主な実施の特徴点

1. 「国際交流センター」の設置及び学生課国際交流係の新設により組織的な強化を図るとともに、大学間交流協定の締結を推進し、協定校数が中期計画の数値目標の25校に達した。

[中期計画(64)(65)・26年度計画(73)(74)]

##### 【上記自己点検結果についての意見】

---

##### 【上記自己点検結果についての質問】

##### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

###### ○学生の海外派遣数

[中期計画 《数値目標》(12)・26年度計画(74)]

目標	【参考】現状値	24	25	26
29年度に 65人	(平成23年度) 75人	47人	81人	51人

「学生の海外派遣数」は、平成29年度までに65名を設定している。平成25年度に81名を派遣した事でこの数値目標をすでに達成したが、平成26年度は51名と目標を下回った。原因として挙げられるのは、毎年夏に派遣している短期中国語研修をキャンセルしたことや、ニューサウスウェールズ大学付属語学学校(UNSWIL)での短期語学研修の参加者がオーストラリアの物価上昇のため、減少したことなどが考えられる。

平成27年度は、短期中国語研修を再開する予定であり、目標を達成できるよう引き続き学生への働きかけに取り組む。

##### 【上記自己点検結果についての意見】

---

##### 【上記自己点検結果についての質問】

## 第5 附属病院に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

### 主な実施の特徴点

1. 地域がん診療連携拠点病院としてがん治療を推進するため、化学療法、放射線治療、緩和ケアを行う東棟（喜谷記念がん治療センター）を平成24年度に開設した。

【中期計画(68)】

2. 平成27年4月の総合周産期母子医療センターの指定に向け、MFICUの設置、NICU・GCUの増床、機器類及び診療スタッフ体制の整備を図った。

【中期計画(70)・26年度計画(79)】

3. 新たな基準での病院機能評価を受審し高評価を得ることができ、平成25年8月に「機能種別 一般病院2」としての認定を全国で初めて受けた。

【中期計画(81)】

### 【上記自己点検結果についての意見】

---

### 【上記自己点検結果についての質問】

### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

なし

### 【上記自己点検結果についての意見】

---

### 【上記自己点検結果についての質問】

## Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

### 主な実施の特徴点

1. 新たな寄附講座設置や外部資金に基づく教員の採用により教育研究活動の推進に繋がるとともに、附属病院の診療体制等の強化のため病院助教や技術系契約職員等の配置を行った。

【中期計画(85)・26年度計画(99)】

2. 教員業績評価について、各研究科・学部単位で実施し、その評価結果に基づき学長表彰を行うとともに処遇の反映として期末勤勉手当の加算を行った。

【中期計画(87)・26年度計画(101)】

### 【上記自己点検結果についての意見】

---

### 【上記自己点検結果についての質問】

### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

なし

### 【上記自己点検結果についての意見】

---

### 【上記自己点検結果についての質問】

### Ⅲ財務内容の改善に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

#### 主な実施の特徴点

1. 受益者負担の観点から、実習関連経費等の見直し、有償貸付施設の拡大、授業公開受講料の見直し等を実施し、自己収入比率を着実に向上させた。

【中期計画(91)・26年度計画(106)】

2. 平成25年3月に卒業生や教職員、退職者等を対象とした全学組織である「名古屋市立大学交流会」を設立し、開学65周年に向け(平成27年度)同窓会組織との連携強化を図った。

【中期計画(93)・26年度計画(107)】

#### 【上記自己点検結果についての意見】

#### 【上記自己点検結果についての質問】

#### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

##### ○純資産比率(純資産/負債純資産合計)

【中期計画《数値目標》(17)・26年度計画(104)】

目標	【参考】現状値		24	25	26
各年度 75%以上に維持	(平成23年度)	77.9%	78.1%	77.5%	73.9%

純資産比率について、平成27年度決算で黒字化を目指し、純資産の増加を図り、純資産比率の改善に努める。

##### ○流動比率(流動資産/流動負債)

【中期計画《数値目標》(18)・26年度計画(104)】

目標	【参考】現状値		24	25	26
各年度 150%以上に維持	(平成23年度)	130.7%	143.5%	153.2%	140.9%

流動比率について、収益の増加等により流動資産である現金預金を増加させ、流動比率の改善に努める。

○経常利益比率(経常利益/経常収益)

[中期計画 《数値目標》(19)・26年度計画(104)]

目標	【参考】現状値		24	25	26
各年度 3%以上に維持	(平成23年度)	0.7%	0.2%	0.0%	△0.5%

経常利益比率について、収益の増加及び経費の節減に努め、経常利益比率の改善に努める。

【上記自己点検結果についての意見】

【上記自己点検結果についての質問】

#### IV自己点検・評価、情報の提供等に関する目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

##### 主な実施の特徴点

1. 業務実績報告書において、「取組実績」と「取組の成果、課題」に関し各欄を設け明示するとともに、附属資料として「中期計画進捗状況一覧」を作成し、第二期中期計画全体の進捗状況を俯瞰的な視点で見る下地を作った。

[中期計画(96)・26年度計画(111)]

##### 【上記自己点検結果についての意見】

---

##### 【上記自己点検結果についての質問】

##### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

なし

##### 【上記自己点検結果についての意見】

---

##### 【上記自己点検結果についての質問】

## V その他の業務運営に関する重要目標

中期目標・計画どおり順調に実施している。

### 主な実施の特徴点

1. 第一期中期計画期間中から進めている滝子及び北千種キャンパスにおける耐震改修並びに田辺通キャンパスにおける薬学部校舎等の改築について、平成 25 年度までに完了させた。

【中期計画(102)】

2. 科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」の採択を受け、女性研究者の上位職登用と研究力向上を図る支援事業を名古屋大学及び豊橋技術科学大学とともに展開している。

【中期計画(109)・26年度計画(127)】

### 【上記自己点検結果についての意見】

### 【上記自己点検結果についての質問】

### 未達成又は遅延している数値目標及び達成するため取組むべき内容

#### ○女性教員比率

【中期計画 《数値目標》(23)・26年度計画(125)】

目標	【参考】現状値		24	25	26
29年度 27%	(平成24年4月1日現在)	19.8%	20.4%	21.5%	22.8%

平成 26 年度においては、従来を取組に加え、若手の女性教員の雇用の推進等を図るため、新たに病院助教や薬学部の特任助教のポストを導入したことで、前年度に比べ 1.3 ポイント、計画期間の当初と比べ 3.0 ポイントの上昇となったが、計画期間中に 7.2 ポイントの上昇を図る必要があり、単純に計算した 3.6 ポイントの上昇と比較すれば若干の遅れがある。

今年度策定した第三次男女共同参画行動計画においては、ジェンダーバランスの改善を重点的に取り組むこととし、「各部局で課題と目標を設定し、ジェンダーバランスを考慮した教員の採用を行う」ことを始めとした行動計画を掲げている。今後は、加速的に成果に結びつけることができるよう、これらの行動計画を具体的に実行していく。

【上記自己点検結果についての意見】

【上記自己点検結果についての質問】

## ◎第二期中期目標の重点項目に対する主な取組実績

### 【第二期中期目標】

前文 大学の基本的な理念 全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学を目指す

今日の人類社会の共通の課題のひとつは、それ自身がつくりだしたかつてない社会と自然の環境の変化による諸問題を克服し、限りある環境・資源と社会の発展を調和させた持続可能な共生社会を形成することである。

名古屋市を設立団体とする公立大学法人名古屋市立大学は、この持続可能な共生社会の形成の一助となるべく、高等教育研究機関にふさわしい知的創造力を以て、諸課題の解決に全力を挙げて取り組むとともに、こうした取り組みなどを通じ、魅力ある地域社会づくりに貢献することにより、全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学像を着実に実現し、我がまちナゴヤの大学と実感できるよう取り組んでいく使命をもつ。

以上の基本的な理念の下、第一期中期目標期間においては、知の創造と継承をめざして真理を探究し、これに基づく教育を通じて社会に貢献することのできる有為な人材を育成するとともに、広く市民と連携し、地域・国際社会にその成果を還元することに努めてきた。また、科学・技術、芸術・文化、産業・経済の発展と市民福祉の向上に寄与するため、とりわけ市民の健康と福祉の向上と、環境問題の解決への挑戦に、率先して取り組んできた。

第二期中期目標期間においては、第一期中期目標による法人・大学運営の実績を踏まえ、次の教育・研究及び社会貢献活動に率先して取り組む。

- 1 名古屋市立大学は、医・薬・看護の医療系三学部を有する我が国唯一の公立大学として、その特性を活かし、**市民の健康と福祉の向上**に資する教育研究課題に積極的に取り組む。
- 2 名古屋市立大学は、その教育・研究機能を通じて、その歴史と実績を活かして、**次世代育成支援、地球環境の保全と社会環境の整備発展**に関わる教育研究課題に重点的に取り組む。
- 3 名古屋市立大学は、名古屋市民によって支えられる市民のための大学であることから、市民等からの寄附を教育研究などに役立てるとともに、市民及び地域への教育研究成果の還元を通じて、名古屋市の行政課題の解決を始めとした**地域社会の発展**に寄与する。

これらの取り組みを安定して推進する基礎として、名古屋市立大学は**教育力、研究力を強化**するとともに、それを支える**大学の運営基盤を整備**する。

### (1) 市民の健康と福祉の向上

- ① AIP（エイジング・イン・プレイス）社会の医学・医療の発展と向上を担う人材を養成するため、文部科学省の「未来医療研究人材養成拠点形成事業」の採択を受け、「地域と育む未来医療人「なごやかモデル」」事業を、名古屋学院大学及び名古屋工業大学と連携して実施している。【中期計画(13)】
- ② 附属病院において、先進医療を目指す先進的な診療に対し、病院独自で診療費を支援する先進・高度医療支援費対象患者審査制度により3年間で15技術を実施するとともに、国が認める先進医療については、硬膜外自家血注入療法等4技術を申請し実施施設に認められた。【中期計画(70)】
- ③ 国際福祉健康産業展（ウェルフェア）の「ウェルフェア健康大学」として健康に関する講座を開講し、教員が講師を務め、3年で延べ2,515名の参加を得た。【中期計画(74)】

## (2) 次世代育成・地球環境の保全・社会環境の整備発展

- ① ユネスコESD世界会議（平成26年11月）において、本会議と各種ワークショップに参加し、本学のESDの取り組みについて発信した。【中期計画(60)】
- ② 生物多様性研究センターにおいて、名古屋市東山総合公園と協力しDNAバーコーディングに必要な基礎データの蓄積に努めるとともに、名古屋市生物多様性センターに対し、名古屋市の外来生物の特定に協力した。【中期計画(53)】
- ③ 名古屋市の有松地区における町並み保存対策調査をはじめ、安城市、美濃加茂市、大垣市の各地方自治体からの受託研究を行った。【中期計画(51)】

## (3) 地域貢献

- ① 平成26年度後期の教養教育科目として、地域の人と触れ合いながら地域の課題や論点を発見し、その解決策について議論し、共に考える「地域連携参加型学習」を開講した。【中期計画(3)(10)】
- ② 経済学研究科における地域と密接関連した具体的な課題をテーマとするプロジェクト研究として、公立病院経営、ワークライフバランス、東海経済のグローバル化に関する研究の他、名古屋市の都市経営や都市環境整備に関する研究、大都市財政と地方交付税制度との関連性に関わる研究を実施した。【中期計画(49)】
- ③ 学習困難環境にある児童への学習支援について、名古屋市子ども青少年局と連携し「学習支援モデル事業」に取り組み、児童養護施設に暮らす子どもたちを大学に招待する「ようこそ大学へプロジェクト」を平成25年度から開催している。【中期計画(16)】

## (4) 教育力・研究力の強化と運営基盤整備

- ① 平成25年度に「FD活動の実質化」の取組みとして教養教育において研究授業（教員相互の授業参観）を導入し、平成26年度は専門教育にも拡大した。【中期計画(38)】
- ② 特別研究奨励費を使用した、独創的・先駆的な学術研究や将来発展できる本学独自の学術研究を実施するとともに、平成26年度から特別研究奨励費の活用方法の改善・見直しを実施した。【中期計画(55)】
- ③ 附属病院において、医療分野における革新的機器・システム等の研究開発、臨床研究及び人材育成の拠点となる「医療デザイン研究センター」を平成26年8月に設置した。【中期計画(直接的な記述なし)】

【上記自己点検結果についての意見】

【上記自己点検結果についての質問】

## ◎中期目標の達成に向けた課題と今後の対応

社会的な要請や時代の変化に対応した教育実施体制の充実・強化に努め、より適切な体制を確立するとの目標達成については、少子化の進行や都市間競争の激化を踏まえ、名古屋市が引き続き若い世代の「学び、遊び、働く」場であることに寄与するため、リニア中央新幹線の開通等の将来的な環境変化を見据えながら、公立の総合大学としての魅力向上と地域貢献を促進する観点から、名古屋市立大学の教育実施体制を総合的に検討する必要があり、第三期中期目標・中期計画に反映できるよう、平成 27 年度中に教育実施体制の将来構想（素案）を策定する。

【上記自己点検結果についての意見】

【上記自己点検結果についての質問】

## ◎進捗状況報告書に関するその他記述

進捗状況報告書の各項目に対する意見欄に記述できないような包括的な意見などがありましたら、ご自由にお書きください。